令和６年度　事業報告書

Ⅰ．国際体験創造事業

次代を担う青少年や市民各層に対し、外国人との直接的な交流による異文化体験の機会を提供し、国際性豊かな人材を育成するとともに、本協会の他事業への参画も図ることで、松山の国際化に向けた人材の活用に努める。

１．青少年海外派遣

（１）まつやま中学生海外派遣２０２４

中学生を姉妹・友好都市へ派遣し、現地での交流や異文化体験を通じて、未来を担う青少年の国際感覚を養い、国際性豊かな人材の育成に努めた。

ア．応募・選考

前年度中に、「中学生世界体験プロジェクト」に参加した松山市在住の中学２・３年生２１９人のうち、応募のあった１０９人に対して面接審査等を実施し、３０人を選考した。

イ．事前研修及び壮行会

事前研修：６月１６日、６月３０日、７月７日（３回実施）

壮 行 会：７月７日　１３：００～１４：１５

ウ．派　　遣

（ア）アメリカ班

期　　間：７月２３日～７月３０日　８日間

派 遣 先：サクラメント市

派 遣 団：中 学 生　　１０人（男２人、女８人）
引率教師　　　２人
協会職員　　　１人

活動内容：
・州議事堂、市庁舎等の見学
・旧市街、鉄道博物館見学
・コロマ地区での砂金採取体験
・カリフォルニア・ステートフェア見学
・現地姉妹都市協会との交流会
・ホームステイ　　ほか

（イ）ドイツ班

期　　間：７月１９日～７月２７日　９日間

派 遣 先：フライブルク市

派 遣 団：中 学 生　　１０人（男５人、女５人）
引率教師　　　２人
協会職員　　　１人

活動内容：
・市役所表敬訪問
・ゲーテ・ギムナジウム校訪問及び生徒との交流
・環境配慮型住宅地区Ｖａｕｂａｎ見学
・新サッカースタジアム見学
・旧市街ラリー
・ホームステイ、ホストファミリーとの交流会　　ほか

（ウ）韓国班

期　　間：７月２４日～７月２９日　５日間

派 遣 先：平澤市

派 遣 団：中 学 生　　１０人（男２人、女８人）

引率教師　　　２人

協会職員　　　１人

活動内容：・平澤中学校訪問

・韓国式茶道及び韓服体験

・英語研修

・ホームステイ　　ほか

エ．派遣報告

帰国後、派遣先ごとに報告用動画を作成し、まつやま国際交流センターホームページ上で公開し、広く周知を図った。

（２）フライブルク市との交流推進のための現地調査

青少年交流再開に向け、フライブルク市及び関係機関との協議を実施した。

また、松山市観光・国際交流課の職員と共にフライブルク市主催の「姉妹都市フェア」に出展した。

①出張期間：６月４日～６月１０日

②出 張 者：協会職員　１人　　市職員１人

（３）「日韓交流おまつり２０２４」出展

友好都市提携２０周年を記念し、ソウルで開催された「日韓交流おまつり」に松山市と平澤市の合同ＰＲブースを出展した。中学生海外派遣についても協議。

①出張期間：９月２０日～９月２４日

②出 張 者：協会職員　１人　　市職員２人

２．大学生海外派遣事業

姉妹・友好交流都市の同世代との交流を通して、それぞれの国の現状を知り、将来の友好交流の基礎となる絆を作ることを目的に、市内の大学生を友好交流都市・台湾・台北市へ派遣する事業を実施し、現地の大学生と交流を図った。

ア．応募・選考

市内の大学生を対象に募集を行い、応募のあった２０人に対して面接審査を実施し、６人を選考した。

イ．事前研修

事前研修：２月１日

ウ．派　　遣

期　　間：３月１２日～３月１６日　５日間

派 遣 先：台湾・台北市

派 遣 団：大 学 生　　６人（男２人、女４人）

協会職員　　１人　　市職員１人

活動内容：【台北市】

・台北市立大学でのワークショップ（都市開発、文化・歴史）

・台北市立大学生との台北市内フィールドワーク

（北投温泉地区、廣慈博愛社會住宅、松山慈祐宮、松山駅、
中正紀念堂、剝皮寮、西門町）

エ．松山市表敬訪問
日　　時：３月２５日　１４：００～１４：２０
会　　場：市役所本館３階　第１会議室
内　　容：派遣生が活動内容を報告した。

３．姉妹友好都市からの青少年受入交流

姉妹・友好都市からの青少年を受け入れ、日本文化の体験やホームステイ等、松山の青少年との交流機会を創出し、国際理解と友好親善を図った。

（１）フライブルク市青少年受入交流

フライブルク市のゲーテ・ギムナジウム（中高一貫校）の訪問団を受け入れ、日本文化体験や学校訪問等の交流事業を実施した。この訪問団は、まつやま中学生海外派遣・ドイツ班の中学生が、フライブルク市訪問の際パートナーとなり交流した生徒を中心に構成されており、ホームステイ受け入れなどを通して、さらなる交流を行った。

期　　間：１０月２８日～１１月３日　７日間
参 加 者：生徒２０人・引率教諭３人
交流内容：松山城、道後温泉　見学
日本文化体験
雄新中学校訪問（授業のほか掃除や部活動にも参加）
防災教室（避難所体験ワークショップ）
しまなみ海道ツアー（来島海峡観潮船・サイクリング）
ホームステイ　　ほか

（２）平澤市青少年受入交流

まつやま中学生海外派遣・韓国班の現地でパートナーとなった平澤市の中学生が、松山を訪問し、日本文化を体験するほか、松山市のパートナーの家庭でホームステイ等の交流を行った。

期　　間：１月１５日～１月２０日　６日間
参 加 者：平澤市中学生９人・引率者４人
交流内容：松山城、道後温泉　見学
日本文化(お琴・尺八)体験　共催/(公財)松山市文化ｽﾎﾟｰﾂ振興財団
愛媛県立松山西中等教育学校訪問（授業のほか部活動にも参加）
しまなみ街道ツアー（サイクリング・耕三寺・今治タオル本店）
ホームステイ　　ほか

（３）平澤市国際児童美術交流展への参加

平澤市国際交流財団が主催し、平澤市及び平澤市の姉妹・友好都市の小学生の美術作品を展示する「２０２５国際児童美術交流展」へ展示する絵画を松山市と協力して募集、出品した。

①募集期間：２月１５日～３月１０日
②テ ー マ：「平和な私たちの世の中」　出展数：８点
③展示場所：韓国・平澤市　松炭国際交流センター及び平澤駅、平澤市内の学校等巡回展示

４．海外からの親善訪問団等受入交流

市民との交流機会を創出し、国際理解の促進に努めることを目的に、姉妹・友好都市からの訪問団を受け入れ親睦を深めた。

（１）平澤市議会議員団

①期　　間：４月２１日～４月２３日
②来 訪 者：平澤市議会６人、平澤市議会事務局５人、平澤市役所３人
③内　　容：松山市議会、花園町通りの視察　　ほか

（２）平澤市職員

平澤市伝統芸能団が伝統芸能を披露するため松山市を訪問し、朝鮮半島に古くから伝わる農楽を産業まつりや市内のショッピングモールで披露し、市民との交流を図った。

①期　　間：１１月２２日～１１月２５日
②来 訪 者：伝統芸能団１５人、平澤市国際交流協会職員３人、平澤市職員３人

（３）愛媛マラソン平澤市訪選手団

平澤港マラソンに松山選手団が参加したことに伴う相互交流として、平澤市から選手及び市関係者が松山市を訪問。視察や交流をコーディネートした。

①受入期間：２月７日～２月１０日
②来 訪 者：選手３人、市関係者４人
③内　　容：第６２回愛媛マラソンへの参加
ボランティア通訳による選手のサポート

５．地球人まつり

通算２８回目となる地球人まつりを愛媛県国際交流センター（ＥＰＩＣ）との共催で開催し、地域で暮らす外国人住民との直接的な交流ができるよう、まつやま花園日曜市に出展した。

①日　　時：１１月２４日　１０：００～１５：００
②内　　容：
・ワールドバザール（世界の料理や雑貨の販売）
７か国（バングラデシュ、フィリピン、パキスタン、ネパール、ナイジェリア、イタリア、アルゼンチン）
・民族衣装試着体験
・平和を願うメッセージで作る世界地図
・国際交流ワークショップ（ＥＰＩＣ担当）
県内の国際交流団体４団体６ブース（ＥＰＩＣ含む）が、気軽に楽しめるワークショップを開催した。

６．フライブルク市寄贈ぶどう活用

フライブルク市から寄贈され、松山市野外活動センター内の「フライブルク友好ぶどう園」において、市が栽培しているぶどう（品種名：ソラリス）を活用してオーナー制度を実施。ソラリスと姉妹都市フライブルクについて理解を深めてもらう機会を提供したほか、児童を対象にソラリス講座を実施した。

（１）ソラリスオーナー制度

人　　数：２０人

期　　間：令和６年５月～令和７年３月

内　　容：　ぶどう園見学及びソラリスについての講話を実施した。獣害発生のため、中止した収穫体験の代替として、クリスマスリース作りを行い、ドイツの文化に親しんでもらう機会を提供した。また、オーナーにはソラリスで作った炭酸リキュールと飴、期間終了後にはぶどう園に掲示したオーナープレートを贈呈した。

（２）製 造 品：ぶどう飴６００袋（１０個入り）、炭酸リキュール　１３５本

（３）収 穫 量：果実　約２７０kg

オーナーに配付（約８０kg）、ぶどう飴とリキュール用（約６０kg）

上記以外の果実（約１３０kg）については、有効活用してもらうため市内の福祉事業所（５か所）に無償提供した。

（４）ソラリスの広報を兼ねた国際理解教室の実施

ソラリスについての紙芝居や、ドイツ・フライブルク市に関するクイズなどを行い、ソラリスや姉妹都市について学ぶ機会を提供した。

	実施日	施　設　名	人数（人）
1	１１月２９日	児童クラブ　Ｊａｃｋキッズ余戸	１０
		合　　計	１０

Ⅱ．共生支援事業

外国人も「同じ地域で生活する住民である」ということを認識し、住民生活に必要な支援を行った。また、外国人の地域行事への参加を促し、地域への溶け込みを図るとともに、市民や地域での国際理解を深め、多文化共生の推進に努める。

１．外国語としての日本語教室

（１）初級・基礎講座

外国人市民が日常の生活に必要なコミュニケーションを日本語で行えるよう、レベル別に分けて基礎講座を開催した。また、来日間もない外国人市民を対象とした「今すぐ日本語～くらしの情報広場～」も開催。授業を通じて、松山の生活に必要な情報を提供した。

講座名		曜　日	時　間	年間回数（回）	登録者数（人）	
					前　期	後　期
平日	初級Ⅰ	火曜	13:00～14:30	３０	8	１０
	初級Ⅱ	木曜	13:00～14:30	３０	１２	１０
	初級Ⅲ	木曜	14:45～16:15	３０	１２	4
夕方	初級Ⅰ	火曜	18:30～20:00	３０	２１	8
	初級Ⅱ	火曜	18:30～20:00	３０	9	１４
週末	今すぐ日本語	土曜	13:30～15:30	１９	１６	１１
合　計				１６９	７８	５７

○子育て中の外国人市民も受講できるよう託児サポートを準備していたが、今年度の利用はなかった。
○「今すぐ日本語」では、生活情報提供等を行ったほか、フィールドワークも実施。

（２）日本語講座サポート研修

「今すぐ日本語」での日本語学習者のサポーター向けに、サポート内容やコツを説明した。

①開　催　日：４月２０日
②参　加　者：６人

２．留学生支援団体助成

外国人留学生を中心とした外国人市民の生活をサポートするため、生活必需品の提供活動を行う民間団体に対して助成を行った。

団　体　名	事　業　内　容	助成金額 (総事業費)
シリキリヤ サポート クラブ	主な提供品：冷蔵庫、整理棚、布団類 主な経費　：倉庫使用料、ガソリン代、 リサイクル費	１５０，０００円 （３２９，２７８円）
ＮＰＯ法人 国際交流 支援協会	主な提供品：冷蔵庫、家具、洗濯機 主な経費　：倉庫使用料、リサイクル費、 ガソリン代	１５０，０００円 （３５６，９９５円）

３．外国人のための無料行政書士相談

愛媛県行政書士会・松山支部との連携により、まつやま国際交流センター会議室で毎月一回無料の行政書士相談を実施し、外国人市民の行政手続きや契約等に関する相談に応えた。

①開 催 日：毎月１回（原則第２水曜日）
②時　　間：１３：３０～１５：３０　一人３０分程度
③場　　所：コムズ４階　国際交流会議室
④相談件数：１０件
⑤主な相談内容：在留資格・ビジネスに関することなど

４．国際交流サロン

外国人市民との交流の中で、市民が世界の様々な文化・生活習慣・価値観等を学び、国際交流へ参加するきっかけとして「国際交流サロン」を開催した。

	実施日	内　　　　容	参加者数 (人)
1	６月２２日	【第５回今日お茶しない？】 台湾出身の銭江晴心さんをゲストに、参加者の質問に答えながら台湾を紹介した。	１２
2	７月２１日	【ハワイ文化ショーケース２０２４】 ハワイからのインターン生に、ハワイの食事、レイの歴史などを紹介してもらい、リボンレイを作った。	１９
3	９月　６日	【英語ｄｅおしゃべり（ＵＷＢ編）】 松山を訪問中のワシントン州立大学ボセル校（ＵＷＢ）の学生と英語でおしゃべりを楽しんだ。	１９

4	２月１６日	**【姉妹・友好都市を知ろう！】** アメリカ（サクラメント市）、ドイツ（フライブルク市）、韓国のゲストがそれぞれの国や姉妹・友好都市を紹介、その後参加者と交流をした。 〈コムズフェスティバル参加事業〉	２８
合　　計			７８

５．ジュニア国際交流「コスモリアン入門教室」

小・中学生を対象に、多文化共生意識の醸成や異文化理解を目的とした講座を開催するなど、心に国境をもたない“コスモリアン”の育成を図った。

（１）国際理解教育の支援

学校からの依頼を受けて外国人を紹介したり、協会職員を講師として派遣し国際理解の促進を図った。

内　　容	小 学 校（人数）	中 学 校（人数）	高等学校（人数）
職場体験／出前講座	２回（　２）	---	１回（　１）
学校等への外国人紹介	３回（１４）	１回（　８）	１回（　１）

（２）「中学生世界体験プロジェクト」

令和７年度に実施予定の中学生海外派遣に参加を希望する生徒を対象に、外国人市民や国際交流関連団体の協力を得て、国際交流や異文化体験の機会を提供する講座を実施した。

①日　　時：前期　１１月１７日、１２月１日、１２月８日、１２月２２日
　　　　　　後期　１月１２日、１月２６日、２月２日
　　　　　　いずれも９時３０分～１６時３０分

②内　　容：・世界のいろいろな国について知る（ＪＩＣＡ愛媛デスクの協力）
　　　　　　・姉妹・友好都市について知る
　　　　　　・「やさしい日本語」でコミュニケーション
　　　　　　・サルサ/太極拳体験
　　　　　　・外国語ｄｅおしゃべり　　　など

③参加人数：松山市内に住む中学１、２年生

前　期	参加者数（人）	後　期	参加者数（人）
１１月１７日	９	１月１２日	７
１２月　１日	１８	１月２６日	１０
１２月　８日	２５	２月　２日	５
１２月２０日	２０		
合　　計			９４

（３）ＥＳＤコーディネーター派遣

　ＥＳＤ（持続可能な開発のための教育）の専門家であるＮＰＯを学校へ派遣し、頭で理解するだけでなく実際に行動へ移す国際理解教育を支援した。

　松山市内で国際協力を実施している団体とも連携し、学習や活動をより身近なものとして感じることができるよう、学齢に応じて工夫を凝らして実施した。

	学　校	内　　容	
１	清水小学校 ６年生６９人 （計２回）	「世界とのつながりと 平和について考えよう！」 イラーリオ氏との交流、小学生が立ち上げた松山のＮＧＯ「Ｂｒｉｄｇｅ ｏｆ ｆｒｉｅｎｄｓｈｉｐ」の活動紹介。	
２	姫山小学校 ６年生１６８人 （計３回）	「平和について考えよう！」～世界の現状を知ろう～ 平和の色のイメージ、平和の言葉の意味を学び、モザンビークの平和構築活動を紹介。	
		「平和について考えよう！」～世界の現状を知ろう～ イラーリオ氏との交流、小学生が立ち上げた松山のＮＧＯ「Ｂｒｉｄｇｅ ｏｆ ｆｒｉｅｎｄｓｈｉｐ」の活動紹介。	
３	たちばな小学校 ６年生８２人 （計２回）	「世界と出会おう！」 ～パリ五輪パラリンピック・アスリートの１日～ 英語でイラーリオ氏との直接交流を通じて、世界とのつながりを体験。	
４	荏原小学校 ６年生９０人 （計３回）	「世界を学ぼう！」 ～アフリカ・モザンビークのシャベラさんから学ぶ～ 小学生が立ち上げた松山のＮＧＯ「Ｂｒｉｄｇｅ ｏｆ ｆｒｉｅｎｄｓｈｉｐ」の活動紹介とモザンビークについて紹介。	
		世界を学ぼう！ ～アフリカ・モザンビークのシャベラさんから学ぶ～ イラーリオ氏とのスポーツ交流、全校生徒へのメッセージ。	
５	新玉小学校 １～６年生 ５９８人 （計８回）	１年生 ７０人	ユネスコスクールデー：絵本『アフリカの音』紹介、モザンビークってどんな国？ケンボ氏・協力隊員と交流。カプラナ布試着体験など。
		２年生 ７８人	ユネスコスクールデー：絵本『水をくむプリンセス』紹介、モザンビークの食に関するクイズ、ケンボ氏・協力隊員との交流、水汲み体験など。
		３年生 １００人	ユネスコスクールデー：絵本『ポリぶくろ１まいすてた』紹介、ケンボ氏・協力隊員との交流、エコブリック体験など。
		４年生 ８２人	ユネスコスクールデー：絵本『その子』紹介、モザンビークの現状と働く人たち紹介、ケンボ氏・協力隊員と交流、質疑応答など。
		５年生 ９０人	ユネスコスクールデー：モザンビークの昔と今の様子を紹介、協力隊員と交流、モザンビークのこれからに関するグループワークなど。
		６年生 ８９人	つながりひろがる学びの創造　ユネスコスクールで目指すＳＤＧｓ イラーリオ氏との交流、小学生が立ち上げた松山のＮＧＯ「Ｂｒｉｄｇｅ ｏｆ ｆｒｉｅｎｄｓｈｉｐ」の活動紹介。

6	高浜小学校 ５～６年生 ２１５人 （計４回）	５～６ 年生 ８７人	世界の暮らしと私たちの暮らし イラーリオ氏との交流、小学生が立ち上げた松山のＮＧＯ「Ｂｒｉｄｇｅ　ｏｆ　ｆｒｉｅｎｄｓｈｉｐ」の活動紹介。
			身近な平和・世界の平和とは？ マチュメ氏とユネスコ無形文化遺産の楽器・ ティンビラで音楽交流。
		６年生 ４１人	身近な平和・世界の平和とは？ ＪＩＣＡエッセイコンテスト受賞作文紹介、『幸せなら手をたたこう』のポルトガル語バージョン練習・ イラーリオ氏、マチュメ氏へのメッセージ動画づくり。
7	雄新中学校 ３年生１９３人 （計２回）	フェアトレードとＳＤＧｓ、ワークショップ（原案：貿易ゲーム） モザンビークのカプラな布を使ったフェアトレード商品づくり 体験ＷＳとＳＤＧｓクイズ。	
8	味生小学校 ５年生３０９人 （計３回）	５年生 １０３ 人	フィリピンの生活やＣｏｍｍｕｎｉｔｙ　Ｌｉｆｅの活動の紹介。
		５年生 １０３ 人	現地の子どもとのオンライン交流
		５年生 １０３ 人	現地の子どもとのオンライン交流

合計　訪 問 校：８校

訪問回数：２７回（打合せを含む）

参加延べ人数：**１，７３２人**（教員含む）

（４）ＥＳＤコーディネーター研修

ＥＳＤコーディネーターの人材育成やコーディネーター同士の情報共有のための研修を行った。

日　　時：８月４日　１３：００～１６：００

会　　場：コムズ４階　国際交流会議室

講　　師：愛媛大学国際連携推進機構副機構長・教授　小林　修　氏
特定非営利活動法人四国グローバルネットワーク
代表理事　竹内　よし子　氏

参加者数：７人

６．地域交流サポート

地域や団体の協力を得て、文化行事等の地域行事へ外国人市民の参加を促し、住民との交流の場をコーディネートすることにより、外国人市民の地域社会への溶け込みと多文化共生を図った。

（１）地域や団体の行事への参加

	月　　日	内　　　　容	参加者数（人）
1	５月　８日	**【二之丸薪能】** 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を鑑賞した。	１５
2	５月１１日 ５月１２日	**【二之丸大茶会】** 松山市文化協会の招待により、外国人市民が伝統文化を体験した。	１６
3	１０月　６日	**【銀天街神輿パレード】** 銀天街第一商店街振興組合が運行する神輿パレードに外国人市民が参加し、日本の伝統行事を通して、地域住民と交流した。	9
4	１１月　４日	**【松山市総合防災訓練】** 松山市防災・危機管理課主催の防災訓練に要支援者として外国人市民が避難訓練に参加した。	6
5	１月１８日	**【外国人のための日本伝統文化教室】** （公財）松山市文化・スポーツ振興財団との共催で、外国人市民がお琴と尺八の演奏体験を行ったり、講師らの演奏を聞いたりして、日本の伝統文化を楽しんだ。	１６
6	３月　４日	**【火災防ぎょ訓練】** 松山東消防署主催で「茶波留」で行われた火災防ぎょ訓練に参加した。	4
		合　　計	６６

※その他、各種団体の協力や依頼により、様々なイベント・文化祭への招待や参加呼びかけを広く外国人に周知した。

Ⅲ．基盤整備事業

外国人市民に対する情報発信等により、その生活をサポートする。また、一緒にサポートしてもらえる人材の育成や、団体の活動活性化を図ることで、“人・物・情報をつなぐネットワークづくり”を行い、協会が地域の国際交流の“拠り所”となるよう努める。

１．国際交流市民ボランティア入門講座

市民を対象に、入門講座と、地域で活動する国際交流団体によるガイダンスの場を設けることで市民とのマッチングを図った。

（１）国際交流団体による活動紹介

①開 催 日：１２月２１日

②受講者数：２４人

③内　　容：市内及び近郊で活動する国際交流１０団体による活動紹介の後、個別に質問等ができる時間を設け、マッチングを図った。

２．交流ボランティアのための語学講座

ＭＩＣボランティア登録者を対象に、地域での交流やボランティア活動に市民の“外国語能力”を生かせるよう、語学やコミュニケーション能力のスキルアップ講座を開催した。受講後はＭＩＣボランティアとして、今後の活動に学習の内容を生かしてもらえるよう努めた。

（１）ボランティア語学講座

観光施設や行事の案内など、外国語観光ガイドに必要かつ実践的な語学の習得を図った。

韓国語については、愛媛マラソンに参加する平澤市の来松者のアテンドをする内容とした。中国語については学校で需要の高まる日本語支援員について学習する内容とした。英語については、ガイドをする際の心構えや依頼の多い生活面でのボランティアについて学習する内容とした。

学習言語	回数	受講者数（人）
韓 国 語	１０	９
中 国 語	１２	１５
英　　語	２３	３６
合　　計	**４５**	**６０**

（２）ボランティアガイド活動

ＭＩＣボランティア登録者がガイドや通訳等の支援を行った。

≪ＭＩＣボランティア登録：１９７人≫

	実施日	内　　　容	種別	派遣人数（人）
1	５月１１日	道後温泉＆他所ガイド	ガイド	1
2	５月１５日	松山城ガイド	ガイド	6
3	５月２５日	道後温泉ガイド ※留学生見学旅行	ガイド	7
4	７月１３日	道後温泉ガイド依頼 ※フィリピンのイロイロ市高校生招聘事業	ガイド	3
5	９月　３日	ＵＷＢ松山城ガイド　　午前	ガイド	3
6	９月　３日	ＵＷＢ道後温泉ガイド　午後	ガイド	3
7	１０月２６日	松山城・道後温泉・石手寺ガイド依頼	ガイド	1
8	１０月２９日	松山城ガイド ※海外青少年受け入れ事業（フライブルク市）	ガイド	8
9	１０月２９日	二之丸ガイド ※海外青少年受け入れ事業（フライブルク市）	ガイド	2
１０	１０月２９日	道後温泉ガイド ※海外青少年受け入れ事業（フライブルク市）	ガイド	6
１１	１１月　６日	松山城ガイド	ガイド	1
１２	１１月２０日	萬翠荘ガイド	ガイド	1
１３	１２月２８日	松山城ガイド	ガイド	1
１４	１月１８日	道後温泉ガイド	ガイド	1
１５	３月１７日	松山城、道後温泉等ガイド ※釜山市民グループ	ガイド	4
			合　　計	４８

３．ホームステイ・ホームビジット振興

日本の文化や家庭生活の体験を希望する外国人とホストファミリーをマッチングし、ホームステイ・ホームビジットを行うことにより、実際のふれあいを通して異文化交流、相互理解を図った。

（１）ホームステイ・ホームビジット

登録家庭：２２０世帯

	期　　間	受入家庭	受入人数（人）	内　　　容
1	５月１７日～５月１９日	１６	２２	アメリカ・イリノイ州大学生（愛媛大学国際連携支援部から依頼）

（２）Ｍｙ　Ｍａｔｓｕｙａｍａ　Ｆａｍｉｌｙ

留学生に松山を“第二の故郷”として親しんでもらえるよう、松山での家族となってもらえる家庭と引き合わせ、４か月を目安としてホームステイに限らない自由な交流を行ってもらう「Ｍｙ　Ｍａｔｓｕｙａｍａ　Ｆａｍｉｌｙ」を実施した。入国制限が緩和され、新規留学生数が徐々に増加した。

①交流実績：春季（６月～　９月）６か国１１人の留学生が１１家庭と交流
　　　　　　秋季（１１月～２月）９か国１６人の留学生が１２家庭と交流

②登録家庭：２７５家庭

４．生活サポートボランティア派遣

外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じＭＩＣボランティア登録者に同行してもらい、サポートを行った。

≪ＭＩＣボランティア登録：１９７人≫

（１）医療同行サポート

	月　日	内　　　容	協力者数（人）
1	４月２３日	整形外科受診通訳（２回目）	1
2	５月１７日	内科受診通訳（１回目）	1
3	５月２１日	整形外科受診通訳（３回目）	1
4	５月３１日	内科受診通訳（２回目）	1
5	６月１４日	内科受診通訳（３回目）	1
6	７月　４日	健康診断同行通訳	1
7	７月　５日	内科受診通訳（４回目）	1
8	８月１７日	歯科受診通訳	1

９	９月１１日 ９月１８日	人間ドック同行通訳	2
１０	９月２５日	婦人科受診通訳（１回目）	1
１１	１０月１７日	婦人科受診通訳（２回目）	1
１２	１０月１９日	レディースクリニック検査相談	1
１３	１１月１１日	婦人科受診通訳(３回目)	1
１４	１１月２２日	内科受診通訳	1
１５	１２月２３日 １２月２６日	内科受診通訳	2
１６	２月１８日 ３月１８日 ３月２５日	産科受診・内科受診通訳	3
		合　　計	２０

（２）日常生活サポート

	月　日	内　　　　　容	協力者数（人）
1	４月　２日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
2	４月　５日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
3	４月　８日	銀行口座開設サポート	1
4	５月１８日	「今すぐ日本語」サポート	9
5	５月２３日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
6	５月３０日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
7	６月１０日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
8	７月　１日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
9	７月　９日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
１０	７月　９日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
１１	７月１０日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
１２	８月１３日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
１３	１０月１２日	「今すぐ日本語」サポート	7
１４	１１月２５日	運転免許センター切り替え同行通訳(１回目)	1
１５	１月　８日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
１６	２月　３日	運転免許センター切り替え同行通訳(２回目)	1

１７	２月２１日	運転免許センター切り替え同行通訳	1
１８	２月２１日	運転免許センター切り替え同行通訳（３回目）	1
		合　　計	３２

（３）日本語支援員

	月　日	内　　　　容	協力者数（人）
1	４月	松山商業高等学校での中国語授業サポート	1
2	４月	素鵞小学校日本語支援員（英語）	3
3	４月	味酒小学校日本語支援員（中国語）	1
4	４月	勝山中学校日本語支援員（中国語）	1
5	４月	素鵞小学校日本語支援員（中国語）	1
6	９月	椿小学校日本語支援員（英語）	1
7	９月	粟井小学校日本語支援員（英語）	1
		合　　計	9

５．民間国際交流団体等助成・支援

（１）姉妹・友好都市との交流助成

	月　日	事　業　名	団　体　名
1	７月２３日～ ７月３０日	サクラメントボーイスカウト受入事業	ボーイスカウト松山地区協議会
2	１０月　６日～ １０月　８日	第２７回日韓市民友好交流フォーラム	愛媛地球市民の会
3	１０月１８日～ １０月２１日	松山・平澤友好協会　平澤市訪問事業	松山・平澤友好協会
4	１０月１９日～ １０月２１日	松山国際スポーツ交流実行委員会交流事業	松山国際スポーツ交流実行委員会
5	３月　４日～ ３月１３日	愛媛大学医学部国際交流看護研修	愛媛大学医学部
6	３月　１日～ ３月１６日	新田青雲中等教育学校Ｃ．Ｋ．マックラチー高校との交流事業	新田青雲中等教育学校

（２）後援・共催

	月　日	事　　業　　名	団　体　名
1	４月２７日	多文化共生セミナー	（特非）Ｃｏｍｍｕｎｉｔｙ Ｌｉｆｅ
2	５月３０日	外国人のためのソーシャルワークサービスワークサービス～フィリピンコミュニティから学ぼう～	（特非）Ｃｏｍｍｕｎｉｔｙ Ｌｉｆｅ
3	４月１３日～９月２５日	みんなの自習室（前半）	にほんご町内会
4	６月２３日 １１月　３日	多文化Ｃｏｏｋｉｎｇ	（特非）Ｃｏｍｍｕｎｉｔｙ Ｌｉｆｅ
5	８月１８日	しこくインターナショナルＭｅｅｔ－Ｕｐ	えひめインターナショナルＭｅｅｔ－Ｕｐ
6	８月１３日	夏休みの宿題をしよう！ ※８月１７日、２４日、３１日も開催	（特非）Ｃｏｍｍｕｎｉｔｙ Ｌｉｆｅ
7	１０月　５日	マドンナレシテーションコンテスト	松山東雲中学・高等学校
8	１０月１０日～３月３１日	みんなの自習室（後半）	にほんご町内会
9	２月１６日	松山アドベンチャーウォークラリー	えひめインターナショナル Ｍｅｅｔ－Ｕｐ

６．情報発信事業

（１）ホームページ・メールニュース・フェイスブック・冊子等による情報提供

生活に必要な情報を外国人市民へ提供するとともに、市民にもホームページ・メール・ＳＮＳ等での情報発信を行った。

①メールニュース

○ＭＩＣメールニュース　登録者数：２，２２０件

当協会が行う事業や、松山市及び近郊の国際交流に関する情報を週１回日本語で配信。

○コスモリアンメール　登録者数：１，１２２件

外国人市民に有用な情報を、やさしい日本語及び英語で併記して随時配信。

市民・外国人市民　７７０件

②Ｗｅｌｃｏｍｅ　Ｓｈｅｅｔ

外国人と日本人市民によるグループ「ゆい・結・Ｙｕｉ」と連携し、昨年度改定した「Ｗｅｌｃｏｍｅ　Ｓｈｅｅｔ」を広く配布した。

（２）まつやま国際交流センター 情報コーナーの整備充実

国内外の定期刊行物や諸外国に関する図書等を収集し、市民の諸外国の情勢や生活文化への理解と、外国人市民の日本社会や文化等に対する理解促進を図った。

○図書貸出：３４冊

Ⅳ．もてなしの風土醸成事業

外国人観光客誘致による交流人口の拡大を支援し、外国人が訪れやすい“やさしい風土づくり”の促進に努める。

１．レンタサイクル

海外からの誘客に向けた受入環境の整備の一助として、短期滞在外国人向けのレンタサイクルを設置し、無償で貸し出した。

①設置台数　　６台

②料　　金　　無料

③貸出件数　９８件

Ⅴ．評議員会・理事会の実績等

令和６年度における評議員会・理事会の開催状況等

１．評議員会の開催状況

○第１回評議員会

開 催 日：令和６年６月６日（木）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）３階　会議室２

決議事項：令和５年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認

公益財団法人松山国際交流協会理事の選任

出 席 者：評議員４人、理事２人、監事２人

○第２回評議員会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会評議員の選任

出 席 等：決議事項について、評議員３人全員の書面による同意の意思表示により異議がないことを得た令和６年８月２７日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

○第３回評議員会
開催方法：決議の省略の方法
決議事項：公益財団法人松山国際交流協会監事の選任
出 席 等：決議事項について、評議員４人全員の書面による同意の意思表示により異議がないことを得た令和７年２月１２日をもって、評議員会の決議があったものとみなした。

２．理事会の開催状況

○第１回理事会
開 催 日：令和６年５月２１日（火）
開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）３階　会議室２
決議事項：令和５年度公益財団法人松山国際交流協会事業報告及び収支決算の承認
公益財団法人松山国際交流協会理事の選任
公益財団法人松山国際交流協会人事考課実施要領の一部改正
公益財団法人松山国際交流協会個人情報保護規程の一部改正
令和６年度公益財団法人松山国際交流協会定時評議員会の招集
報告事項：事業の執行状況について
出 席 者：理事８人、監事２人

○第２回理事会
開催方法：決議の省略の方法
決議事項：公益財団法人松山国際交流協会代表理事の選任
出 席 等：決議事項について、理事８人全員の書面による同意の意思表示及び監事２人全員から書面により異議がないことの意思表示を得た令和６年６月６日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第３回理事会
開催方法：決議の省略の方法
決議事項：公益財団法人松山国際交流協会評議員の選任
令和６年度第２回公益財団法人松山国際交流協会評議員会の招集
出 席 等：決議事項について、理事８人全員の書面による同意の意思表示及び監事２人全員から書面により異議がないことの意思表示を得た令和６年８月２７日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第４回理事会
開 催 日：令和６年９月１８日（水）
開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）４階　国際交流会議室
決議事項：公益財団法人松山国際交流協会－財団法人平澤市国際交流財団相互協力のための業務提携書締結
公益財団法人松山国際交流協会職員採用等に関する規程の一部改正
公益財団法人松山国際交流協会再雇用嘱託職員の就業及び給与等に関する規則の一部改正
出 席 者：理事７人（欠席１人）、監事２人

○第５回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会給与規程の一部改正

出　席　等：決議事項について、理事８人全員の書面による同意の意思表示及び監事２人全員から書面により異議がないことの意思表示を得た令和６年１２月１９日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第６回理事会

開催方法：決議の省略の方法

決議事項：公益財団法人松山国際交流協会監事の選任
令和６年度第３回公益財団法人松山国際交流協会評議員会の招集

出　席　等：決議事項について、理事８人全員の書面による同意の意思表示及び監事１人から書面により異議がないことの意思表示を得た令和７年２月１２日をもって、理事会の決議があったものとみなした。

○第７回理事会

開　催　日：令和７年３月２５日（火）

開催場所：松山市男女共同参画推進センター（コムズ）４階　国際交流会議室

決議事項：令和７年度公益財団法人松山国際交流協会事業計画及び収支予算の承認

報告事項：事業の執行状況について

出　席　者：理事６人（欠席２人）、監事２人